



## 親ページ – 移民労働者を保護するための法律

「雇用主のコンプライアンス（法令遵守）強化に関する法令」（The Strengthening Employer Compliance Act）により、移民労働者の搾取に対処する新しい法律が導入されました。これらの法律は、雇用主や雇用過程に関わるその他の人々が、労働者の移民としての立場を利用して搾取することを抑止するものです。また、正しい行いをしている事業主に公平な競争の場を提供することにも貢献しています。

2024年7月1日から施行される新法は以下を目的としています。

- 一時滞在の移民労働者に対する搾取の軽減
- 雇用主のコンプライアンス（法令遵守）向上
- 公正な職場の実現へ向けた改善

スポンサーを含む雇用主や労働者派遣仲介業者による違法な就労関連違反行為として、次の3つが追加されました。

- 一時滞在ビザ保持者に対して、労働関連のビザ条件に違反するよう強要、または圧力をかけること
- 有効なビザを持たない非市民に対して、労働関連の取り決めを受け入れたり同意するよう強要、または圧力をかけること。
- 労働者の一時滞在ビザ資格を利用して、職場で彼らを搾取すること（既存のビザ条件や将来のビザ申請のための要件に関連した行為も含む）。

これらの法律は、搾取が起こる可能性のある労働関連のさまざまな状況を対象としています。

該当する状況として次のようなものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 移民労働者への不当な低賃金の支払い
- 移民労働者にビザの条件で許可されている時間以上の労働時間を強いること
- 移民労働者のビザを取り消すと脅すこと（雇用主がビザを取り消すことはできません）
- パスポートを手渡すように移民労働者に強要すること
- 望まない性行為に従事するように移民労働者に強要すること
- 劣悪な住居や不十分な食事、水道や電気が十分に利用できないような状況などの適切でない生活条件を受け入れるよう移民労働者に圧力をかけること。

この法律は、ビザ資格に関係なくすべての移民労働者を保護するものです。これには、就労権のあるビザ保持者、期限切れのビザ保持者および、ビザ条件に違反して働いている人が含まれます。

職場での搾取に関しては、以下のいずれかの機関に通報することができます。

- フェアワーク・オンブズマン (Fair Work Ombudsman)
- ボーダー・ウォッチ (Border Watch)

通報は匿名で行うことができます。

## 子ページA - 移民労働者向け情報

一時滞在の移民労働者を職場での搾取から守るための法律があります。

労働者は、在留資格に関係なく国の労働法によって保護されています。これには、就労権のあるビザ保持者、期限切れのビザ保持者および、ビザ条件に違反して働いている人が含まれます。職場での搾取があれば、早めに通報してください。

以下のいずれかに連絡することができます。

- フェアワーク・オンブズマン (Fair Work Ombudsman)
- ボーダー・ウォッチ (Border Watch)

通報は匿名で行うことができます。

フェアワーク・オンブズマンには、13 13 94番にお電話いただくか、または[匿名でオンライン上の通報](#)を行うことが可能です。

雇用主はあなたのビザ条件の取り消しまたは変更を行うことはできません。オーストラリア国境警備隊 (Australian Border Force) と内務省 (Department of Home Affairs) のみがあなたのビザ資格についての決定を行うことができます。

自分のビザに関する規則や労働条件、有効期限などを把握しておくことが大切です。オーストラリアでは、すべてのビザが非市民に働くことを許可しているわけではありません。

ビザの条件については、無料で安全なビザ資格確認オンラインシステムVEVO ([Visa Entitlement Verification Online](#)) を使用して確認することが可能です。アプリストアからmyVEVOアプリをダウンロードすることもできます。

[労働者の権利](#)についての情報をお読みいただくと、賃金や職場の条件についてさらに詳しく学ぶことができます。

## よくある質問

### 新しい移民労働者保護制度は私に適用されますか？

はい、一時滞在の移民労働者であれば、あなたを搾取から守り、職場の問題解決のための支援を行う新法が適用されます。

### 新法は、雇用主のどのような行為を対象としていますか？

新法は、職場もしくは仕事に関連する場面のどちらでも起こり得る、仕事関連または仕事以外に関連する状況での搾取を対象としています。雇用主があなたに対して、以下のようなことについて脅すことは法律違反です。

- あなたのビザ条件や労働権
- 将来のビザ申請
- あなたのビザの取り消し（雇用主がビザの取り消しまたは発行を行うことはできません）
- オーストラリアからの追放。

給料が不当な低賃金であったり、ビザの条件として許可されている時間を超えて働かされたりすることは、どちらも職場での搾取の例となります。

パスポートを手渡すように圧力をかけられたり、望まない性的行為に従事させられたりすることも、職場での搾取の例です。

これらのケーススタディをお読みいただくことで、法律に違反する雇用主の行動の種類について詳しく知ることができます。

### 私の給料をチェックし、労働時間を追跡する簡単な方法がありますか？

フェアワーク・オンブズマンでは、給料や賃金をチェックできる給与計算機などの便利なツールがあります。労働時間については、「勤務時間記録 (record my hours)」アプリを使用して素早く簡単に記録することができます。

これまで職場で搾取されてきましたが、通報したらビザが取り消されるのではと心配しています。どうしたらよいですか？

職場で搾取されている場合は、助けを求めべきです。国内の労働法は、在留資格に関係なく労働者を保護しています。単に搾取を通報するだけでビザが取り消されるということはありません。

労働関連のビザ条件に違反していたとしても、一部のビザ保持者は取消しから保護される場合があります。

既存の「保証プロトコル (the Assurance Protocol)」という取決めにより、職場での搾取によって労働に関するビザ条件に違反した場合でも、以下に該当する限り、あなたのビザは取り消されないことになっています。

- あなたが労働者のフェアワーク・オンブズマンからの助言やサポートを受けて、彼らの調査に協力していること
- あなたのビザを取り消すその他の理由（国家の安全を脅かしたり、品行や健康状態、詐欺などの理由）が無いこと
- 今後はビザの条件を守ることを約束すること。

「保証プロトコル (the Assurance Protocol)」についてさらに詳しくお読みください。

これらのビザ取り消しを防ぐ保護措置に関しては、現在改善に取り組んでいます。詳細は近日中にお知らせします。

**給料や労働条件などについて、移民労働者にはどのような権利や資格がありますか？**

詳しくは、ビザ保持者および移民労働者の職場での権利と資格をお読みください。

**一時滞在の移民の雇用を一定期間禁止されている雇用主について調べるにはどうすればよいですか？**

2024年7月1日より、移民労働者を著しく、繰り返し、または故意に搾取したことが判明した雇用主については、新たな一時滞在の移民労働者の雇用を一定期間禁止される可能性があります。禁止措置を受けている雇用主のリストは、オーストラリア国境警備隊 (Australian Border Force) ウェブサイトで確認することができます。

**私の雇用主は禁止措置の対象となっています。その職場でまだ働くことはできますか？**

はい、あなたがその選択をするなら可能です。もしあなたの雇用主が禁止措置を宣言された日にあなたが既に雇用されていた場合は、引き続き同じ雇用主のもとで働くかどうかはあなた次第になります（詳細はオーストラリア国境警備隊 (Australian Border Force) のウェブサイトを参照）。

## 子ページB - 雇用主や労働者派遣業者向け情報

雇用主や労働者派遣業者は、公正労働法 (Fair Work Act) と移民法 (Migration Act) のもとに定められた法令を含む、雇用に関する法律に従わなければなりません。

労働者は、その在留資格に関係なく、公正労働法 (Fair Work Act) の適用対象となります。

雇用主として法律に違反した場合、次のような措置の対象となる可能性があります。

- 特定の対策を講じたり、または特定の行為をやめるように指示するコンプライアンス（法令遵守）通知を受け取る

- 強制力のある取決め (enforceable undertaking) と呼ばれる法的拘束力のある契約を締結し、特定の対策を講じたり、特定の行為をやめたりすることを求められる
- 罰金を科されるか、その他の関連する罰則を受ける可能性がある。

深刻な、故意の、または繰り返しの違反行為については、起訴の対象となる可能性があります。罰則には次のようなものがあります。

- 最長2年の禁錮刑
- 最高112,680ドル (360罰則単位) の罰金。

雇用主が深刻で、故意の、または繰り返しの搾取行為に関与していると判明した場合、新たな一時滞在ビザ保持者の雇用を一定期間禁止される可能性があります。

禁止措置対象の雇用主はオーストラリア国境警備隊 (Australian Border Force) のウェブサイトにも名前が記載され、禁止期間終了後に追加の報告義務を負うことになります。

もし禁止措置に違反した場合、例えば禁止期間中に新たに一時滞在ビザ保持者を雇用するなどの行為を行った場合は起訴される可能性があります。

## 雇用主または労働者派遣業者としての責任について確認してください。

一時滞在ビザ保持者の雇用主であるあなたは、雇用主としての責任を理解しておく必要があります。移民労働者を雇用する前に、彼らがオーストラリアで合法的に働けるかどうかを確認する責任が雇用主にはあります。

雇用する可能性がある従業員の労働条件については、無料のオンラインシステム VEVO で確認することができます。その場合、ビザ保持者の許可を得る必要があります。

## よくある質問

### 新しい規則とはどのようなものですか？

新法のもとでは、以下のことを強要し、過度な影響や圧力を与えることが違反とみなされます。

- 一時滞在ビザ保持者がビザ関連の労働条件に違反すること
- 有効なビザを持たない非市民が、仕事に関連した取決めを受け入れること
- 一時滞在ビザ保持者が仕事に関連する取決めに同意すること。

有効なビザを持たない非市民を雇用すること自体がすでに法律違反となります。

これらの新しい違反は、在留や一時滞在ビザ資格 (将来のビザ申請に関連するものを含む) を利用して職場での搾取を行うことに対し追加の罰則を追加するものです。

## 仕事に関連する取決めとは何を意味するのですか？

これは職場で起こりうる仕事関連の問題と仕事以外に関連する問題を指します。これらの状況には、次のようなものが挙げられます。

- 移民労働者への不当な低賃金の支払い
- 彼らのビザを取り消すと脅迫すること（雇用主がビザを取り消すことはできません）
- 移民労働者に望まない性行為を強要すること。

また、労働者が以下のように不当な影響を受け、圧力を受けたり強制されたりする状況も含まれる可能性があります。

- パスポートを手渡すこと
- ビザの条件で許可されている時間を超えて働くこと
- 不適切な生活条件、例えば劣悪な住居や不十分な食事、水道や電気が適切に利用できないような状況を受け入れること。

## 法律に違反した場合はどうなりますか？

新法は、執行官が違反事例の状況に応じて相応の対応を取るための新たな手段となります。

例えば、状況によってはあなたがコンプライアンス（法令遵守）通知を受け取ることがあり、そこには特定の対策を講じるか、今行っている特定の行為をやめて法律を守るように指示されています。その他の状況では、起訴され、深刻な結果に直面する可能性があります。

## 禁止措置はどのような仕組みになっていますか？

2024年7月1日以降、重大な、故意の、または繰り返し行われる違反が認められた雇用主に対しては、違反の内容と程度に応じて、一定期間新たな移民労働者を雇用することが禁止される場合があります。これは移民労働者を保護することを目的とした措置です。禁止されている雇用主の事業名とオーストラリア事業者登録番号（ABN）は、[オーストラリア国境警備隊（Australian Border Force）](#)のウェブサイトに掲載されます。

禁止措置を受けた雇用主は、禁止期間終了後に内務省（Department of Home Affairs）に対して12ヶ月間の追加報告義務を果たす必要があります。

## 禁止措置はどの位の期間続きますか？

- 人身売買や現代奴隷制度に関連する違反に関しては、禁止期間の上限はありません。
- 刑法上の違反行為（人身売買や現代奴隷制度に関連する違反を除く）に対する最高刑は10年です。
- その他の移民労働者関連の制裁は最長5年間です。

**私が禁止対象の雇用主として宣告を受ける場合、事前に知らされますか？**

禁止宣告の対象となる可能性がある場合、禁止対象とされるべきではない理由の説明を求める手紙が届きます。その手紙に対する回答には、少なくとも28日以上期間が与えられます。それ以上の回答期間が与えられている場合は、その旨が手紙に明記されています。

**禁止措置に異議を申し立てることはできますか？**

はい、禁止措置対象となった雇用主は、行政訴訟裁判所 (Administrative Appeals Tribunal) による再審査を受けることができます。

**もし私が禁止措置対象の雇用主と宣告された場合、その期間内に新たに一時滞在ビザ保持者を雇用したらどうなりますか？**

禁止命令を破ることは犯罪行為となります。罰則として最長2年の禁錮刑か最高112,680ドル (360罰則単位) の罰金、またはその両方が含まれます。

**一時滞在ビザ保持者の雇用主として、従業員のビザ条件はどこで確認することができますか？**

従業員のビザ条件を確認することは、雇用主の責任です。内務省のビザ資格確認システム (VEVO) を使用して確認を行うことができます。

## 子ページC - ケーススタディ (事例研究)

移民労働者を搾取から保護する新しい法律は、職場で発生し得る仕事関連の問題と仕事以外に関わる問題の両方を網羅しています。労働者が次のような状況にある場合もこの対象となります。

- 賃金の過少払い
- 望まない性行為の強要
- ビザの取り消しについての脅迫。

また、労働者が圧力をかけられる以下のような状況も対象となる場合があります。

- パスポートを手渡すこと
- 不十分な生活条件、例えば劣悪な住居や不十分な食事、水道や電気が適切に利用できないような状況を受け入れること
- ビザの条件で許可されている時間を超えて働くこと。

移民労働者の職場での搾取に該当する行為の例をここにいくつか挙げます。

### ケーススタディ1

チェンさんはオーストラリアの大学に留学しており、ガソリンスタンドで働いています。チェンさんは生活費を賄うために週末の勤務も受け入れています。

しかし、その追加勤務によって、学生ビザで許可されている2週間あたり48時間の労働時間を超えてしまいます。チェンさんのマネージャーはそれを知りながらも、彼を追加のシフトに入れ続けています。チェンさんのマネージャーはまた、彼に適切な給料を支払っていません。

チェンさんは上司に賃金過少払いの問題を提起しました。彼の上司は、もし黙っていなければ許容時間を超えて働いていると当局に報告し、ビザが取り消されるかもしれない、とチェンさんに言います。

従業員に適切な報酬を支払わないことや、ビザの条件に違反して働かせることは既に法律で禁止されていることです。新しい措置の下では、彼の雇用主はチェンさんに学生ビザの労働条件を破るよう圧力をかけることでも法律に違反しています。

## ケーススタディ2

123はオーストラリア全土の園芸関連の企業に労働者を派遣する労働者派遣会社です。サリーさんはその労働者の一人ですが、彼女の観光ビザは期限が切れています。会社はサリーさんが不法滞在していることを知っていますが、それでも彼女を働かせています。

サリーさんはすぐに自分が同僚よりも給料が低いことに気づき、苦情を言いました。会社は彼女に対して、最初から働くべきではなかったと告げ、苦情を言い続けるなら当局に通報すると脅迫しました。

労働者派遣会社は、サリーさんが有効なビザを持っていないのに働かせていることや、彼女に適切な賃金を支払わないことで既に法律に違反しています。新しい違反規定により、労働派遣会社は追加の刑事告訴を受ける可能性があります。

## ケーススタディ3

ニティアさんは、オーストラリアで働くためにスポンサーを受けている若手のIT企業社員です。彼女は将来的にオーストラリアで永住権を取得出来たらと期待をしています。新しい仕事が始まって間もなく、彼女の上司は不適切な性的コメントをし、話をする際にニティアさんの意に反してニティアさんに触ってくるようになりました。

ニティアさんがこの問題を上司に伝えると、もしトラブルを起こしたら永住ビザの指名を受ける機会がなくなると言われました。セクシャルハラスメントは法律違反であり、新たな違反措置の下では、ニティアさんの上司は彼女のビザ資格を悪用して搾取したことで追加の刑事告訴を受ける可能性があります。